



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 3 日

株式会社 静岡中央銀行

(URL <http://www.shizuokachuo-bank.co.jp>)

本社所在地都道府県 静岡県

代 表 者 取締役社長 奥田 一

問合せ先責任者 取締役経営管理部長 林 道弘

T E L : (055) 962-6113

(百万円未満、少数点第 1 位未満は切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

	経常収益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	3,002	(5.0)	728	(17.8)	73	(△80.3)
19 年 3 月期第 1 四半期	2,858	(-)	618	(-)	375	(-)
19 年 3 月期	11,225		2,267		1,325	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	3	06	—	
19 年 3 月期第 1 四半期	15	62	—	
19 年 3 月期	55	22	—	

(注) 経常収益、経常利益、四半期 (当期) 純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
なお、平成 18 年 3 月期第 3 四半期より四半期決算を行っているため、19 年 3 月期第 1 四半期における対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	486,285	34,409	7.0	1,433	72
19 年 3 月期第 1 四半期	460,794	33,873	7.3	1,411	41
19 年 3 月期	480,878	34,410	7.1	1,433	75

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分) を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）【参考】

平成 20 年 3 月期の連結業績予想につきましては、平成 19 年 5 月 18 日公表値から変更ございません。

	経常収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	5,910	1,030	600	25 00
通期	12,330	2,270	1,330	55 41

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成しておりますが、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

比較四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (A) (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	前四半期 (B) (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成 19 年 3 月期
(資産の部)				
現金預け金	14,239	23,591	△9,351	21,847
コールローン及び買入手形	18,100	8,300	9,800	21,900
買入金銭債権	—	—	—	—
有価証券	70,750	59,086	11,663	57,017
貸出金	376,154	362,389	13,764	373,237
その他資産	1,476	1,144	331	1,382
有形固定資産	9,061	9,099	△38	9,101
無形固定資産	357	350	7	386
繰延税金資産	—	516	△516	—
支払承諾見返	790	722	67	683
貸倒引当金	△4,643	△4,406	△237	△4,678
資産の部合計	486,285	460,794	25,491	480,878
(負債の部)				
預金	443,217	418,013	25,204	438,951
その他負債	3,109	3,940	△830	2,379
賞与引当金	248	237	10	449
役員賞与引当金	—	—	—	43
退職給付引当金	1,615	1,718	△103	1,632
役員退職慰労引当金	575	—	575	—
繰延税金負債	45	—	45	54
再評価に係る繰延税金負債	2,273	2,287	△14	2,273
支払承諾	790	722	67	683
負債の部合計	451,876	426,920	24,955	446,468
(純資産の部)				
(株主資本)				
資本金	2,000	2,000	—	2,000
資本剰余金	0	0	—	0
利益剰余金	25,254	24,328	926	25,240
株主資本合計	27,255	26,329	926	27,241
(評価・換算差額等)				
その他有価証券評価差額金	3,597	3,965	△368	3,611
土地再評価差額金	3,556	3,578	△22	3,556
評価・換算差額等合計	7,153	7,544	△390	7,168
純資産の部合計	34,409	33,873	535	34,410
負債及び純資産の部合計	486,285	460,794	25,491	480,878

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

比較四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (A) (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	前四半期 (B) (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成 19 年 3 月期
経常収益	3,002	2,858	143	11,225
資金運用収益	2,711	2,539	171	10,088
（うち貸出金利息）	(2,415)	(2,107)	(308)	(8,873)
（うち有価証券利息配当金）	(271)	(429)	(△158)	(1,182)
役務取引等収益	275	252	22	998
その他業務収益	1	23	△22	28
その他経常収益	13	42	△28	109
経常費用	2,273	2,240	33	8,957
資金調達費用	308	38	269	548
（うち預金利息）	(307)	(38)	(269)	(541)
役務取引等費用	180	143	37	656
その他業務費用	—	23	△23	9
営業経費	1,778	1,901	△123	6,884
その他経常費用	6	133	△126	859
経常利益	728	618	110	2,267
特別利益	37	2	34	78
特別損失	555	1	554	69
税金等調整前四半期（当期）純利益	210	619	△409	2,277
法人税・住民税及び事業税	136	244	△107	167
法人税等調整額	—	—	—	783
少数株主利益（△は少数株主損失）	—	—	—	—
四半期（当期）純利益	73	375	△301	1,325

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成19年3月31日残高	2,000	0	25,240	27,241
当四半期中の変動額				
剰余金の配当(注2)			△60	△60
役員賞与(注2)				
四半期純利益			73	73
土地再評価差額金の取崩				
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)				
当四半期中の変動額合計	—	—	13	13
平成19年6月30日残高	2,000	0	25,254	27,255

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	3,611	3,556	7,168	34,410
当四半期中の変動額				
剰余金の配当(注2)				△60
役員賞与(注2)				
四半期純利益				73
土地再評価差額金の取崩				
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)	△14		△14	△14
当四半期中の変動額合計	△14	—	△14	△0
平成19年6月30日残高	3,597	3,556	7,153	34,409

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成19年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

四半期財務情報作成のための基本となる事項

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、一部「簡便な手続き」を採用して四半期財務・業容の概況を作成しております。

なお、四半期財務・業容の概況に関する計数は、監査法人の監査を受けておりません。

【簡便な手続きの内容】

1. 貸倒引当金の計上基準

平成19年3月末時点における債務者区分をベースとし、平成19年3月末から平成19年6月末までの倒産、不渡り、延滞等の客観的事実のほか、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行った平成19年6月末残高に対し、平成19年3月期に適用した貸倒実績率等に基づき計上しております。

2. 法人税等の計上基準

簡便的に法定実効税率をベースとした年間予測税率により算出しており、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

会計処理方法の変更

役員退職慰労引当金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い（日本公認会計士協会監査・保証実務委員会報告第42号 平成19年4月13日）」に基づき、当事業年度から、内規に基づく支給見込額を引当金として計上する方法に変更しております。

この変更に伴い、当事業年度の期首に計上すべき過年度相当額555百万円については特別損失に、当事業年度第1四半期負担額20百万円については営業経費に計上しております。これにより、従来の方法による場合と比較して、経常利益は20百万円、税引前四半期純利益は575百万円それぞれ減少しております。

セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

連結会社は銀行業以外に一部不動産、保証業務等の事業を営んでおりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

(2) 所在別セグメント情報

在外連結子会社及び在外支店等がないため該当項目はありません。

(3) 国際業務経常収益

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

平成20年3月期 第1四半期 決算説明資料

1. 損益の状況（単体）

平成20年3月期第1四半期の 業務純益は 7億10百万円、コア業務純益は 7億8百万円
 経常利益は 7億14百万円、四半期純利益は 92百万円となっております。

(単位：百万円)

	当四半期 20年3月期第1四半期 (A)	前年同四半期 19年3月期第1四半期 (B)	比較 (A)-(B)	(参考) 19年3月期
経常収益	2,985	2,850	134	11,180
業務粗利益	2,479	2,596	△116	9,823
資金利益	2,403	2,501	△97	9,539
役務取引等利益	73	94	△20	265
その他業務利益	1	0	1	18
うち国債等債券関係損益	1	0	1	18
経費（除く臨時処理分）	1,769	1,874	△105	6,823
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	710	721	△11	2,999
コア業務純益（注）	708	721	△13	2,980
①一般貸倒引当金繰入額	—	△0	0	△295
業務純益	710	720	△10	3,295
臨時損益	4	△106	110	△1,106
②うち不良債権処理額	—	73	△73	1,067
貸出金償却	—	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	—	73	△73	1,036
その他の債権売却損等	—	—	—	31
うち株式等関係損益	8	△20	28	7
経常利益	714	614	99	2,188
特別損益	△485	0	△486	0
税引前四半期（当期）純利益	228	615	△387	2,189
税金費用	136	244	△107	947
四半期（当期）純利益	92	371	△279	1,241

(注) コア業務純益 = (業務純益) + (一般貸倒引当金繰入額) - (国債等債券関係損益)

2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示（単体）

平成19年6月末の「金融再生法開示債権（単体）」は12,330百万円となり、総与信に占める割合は3.26%となりました。

	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	平成19年6月末	平成18年6末	平成19年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,421	3,224	3,535
危険債権	7,520	7,503	7,778
要管理債権	1,389	2,278	1,605
合計	12,330	13,005	12,919
総与信に占める開示債権額の割合	3.26%	3.58%	3.45%

(注) 上記の四半期末(平成19年6月末)の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末又は中間期末に開示する計数とは異なるため計数は連続しておりません。

- 平成19年6月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分(※)をベースとし、同3月末から6月末までの倒産、不渡り、延滞等の客観的事実のほか、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、平成19年6月末残高にて開示しております。
- 平成19年6月末の「要管理債権」の金額は、同様に同年3月末時点における「要管理債権」をベースとし、同3月末から6月末までに新たに「要管理債権」となった貸出債権、および回収状況ならびに債務者区分の変更を勘案し、平成19年6月末残高にて開示しております。

※ 債務者区分との関係

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
- 危険債権（破綻懸念先の債権）
- 要管理債権（要注意先のうち、元本又は利息の支払が3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権）

3. 自己資本比率（国内基準）

平成19年9月末の単体自己資本比率は11.1%程度、単体Tier I比率は9.7%程度を予想しております。
連結自己資本比率は11.1%程度、連結Tier I比率は9.7%程度を予想しております。

	平成19年9月末 (予想値)	(参考) 平成19年3月末 (実績)
【単体】自己資本比率	11.1%程度	11.15%
うちTier I比率	9.7%程度	9.75%
【連結】自己資本比率	11.1%程度	11.19%
うちTier I比率	9.7%程度	9.78%

(注) 上記予想値は、経営環境他に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

○ 評価差額

（単位：百万円）

（参考）（単位：百万円）

	平成 19 年 6 月末				平成 18 年 6 月末				平成 19 年 3 月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	68,994	5,897	6,861	963	57,374	6,501	7,361	859	55,295	5,921	6,619	698
株式	9,007	6,455	6,499	43	8,577	6,404	6,433	29	8,630	6,191	6,213	21
債券	44,323	△442	49	491	33,277	△487	68	555	32,336	△207	123	330
その他	15,663	△115	312	428	15,519	584	859	275	14,328	△62	283	346

- (注) 1. 平成 19 年 6 月末の「評価差額」及び「含み損益」は、同年 6 月末時点の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前）と時価との差額を計上しております。
また、平成 19 年 3 月末の「評価差額」及び「含み損益」は、同年 3 月末時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

5. デリバティブ取引（単体）

該当ございません。

6. 預金・貸出金の残高（単体）

(1) 預金の状況

平成 19 年 6 月末の預金残高は、443,920 百万円（前年同期比 +25,346 百万円 6.05% 増）となりました。

	平成 19 年 6 月末		平成 18 年 6 月末	平成 19 年 3 月末	
	(単位：百万円)			(参考)	(単位：百万円)
預金（末残）	443,920		418,573	439,584	
うち個人預金	318,351		308,668	313,772	

(2) 貸出金の状況

平成 19 年 6 月末の貸出金残高は、376,154 百万円（前年同期比 +13,764 百万円 3.79% 増）となりました。

	平成 19 年 6 月末		平成 18 年 6 月末	平成 19 年 3 月末	
	(単位：百万円)			(参考)	(単位：百万円)
貸出金（末残）	376,154		362,389	373,237	
うち中小企業等向け貸出金	340,024		324,009	338,128	
うち消費者ローン	73,449		62,987	69,879	
うち住宅ローン	69,910		58,582	66,097	

以上